



建設通信

2025年10月号
Vol.94

Qui クイックス株式会社
http://www.quix.co.jp
東京都渋谷区宇田川町2番1号
03-5456-1511(TEL)
03-5456-1811(FAX)

発行者



クラウド型 RTK サービス



点群データ リアルタイム伝送



生成 AI を悪用

建設業は ICT(情報通信技術)の導入により生産性が向上、熟練技術者必須の時代から機械やソフトを扱う人材を必要とし、誰でも力を発揮できるようになりました。ICT が人々の暮らしの豊かさに貢献している建設業は今、やり方やシステム変革によってこれまで経験したことのないおもしろい時期と言えます。

発行責任者 牧坂勝

クラウド型 RTK サービスの普及による、高精度位置情報サービスで測量が変わる？

クラウド型 RTK サービスとは、GNSS の補正データをクラウド経由でリアルタイム配信し、誤差数センチの測位を可能にするサービスです。広域の基準点ネットワークから補正情報が提供されるため、GNSS 受信機だけで高精度測位が可能になります。基地局を設置せずに作業できるため、効率化省力化に寄与します。ネットワーク補正により、10~20km 以上離れた基準局との測位でも安定した精度が得られます。クラウド経由で補正データを取得する方式は一般に「ネットワーク型 RTK」とも呼ばれ、現在利用できる代表的なサービスには **(ichimill(イチミル) - SoftBank や IoT 高精度 GNSS 位置情報サービス - docomo)** などがあります。

スマートフォンやタブレットに取り付ける小型の RTK 対応 GNSS 受信機を使用することは現在、測量の一つのトレンドとなっており、上記のサービスと組み合わせると、短時間で高精度な測量成果が得られるようになってきました。必要な精度や目的に合わせて多彩なツールやサービスを選択していただけるように情報をチェックしていきましょう。

氏名・住所変更登記の義務化

所有者不明土地問題解消の一環として、これまで任意とされていた不動産の住所変更登記が **2026年4月1日**より義務化されます。不動産所有者の氏名もしくは住所の変更があった際、その変更日から2年以内に変更の登記申請が必要となります。また、義務化よりも前に住所等を変更した場合であっても、変更登記をしていない場合には義務化の対象となり、2028年3月31日までに変更登記をする必要があります。これにより、登記情報の正確性が保たれ、土地の利活用の促進が見込まれます。

「TREND-POINT Ver.12」登場！！

【リリース日】2025年10月21日(火)

Ver.12 の新機能

「3D Gaussian Splatting 読込」 価格:10万円(税別)

3DGS データ(ply/spz/splat)の取り込みに対応し、写実的なモデルを 3D 空間に再現できる機能が搭載されました。例えば、看板等の文字やコンクリートのクラック、微細などの凹凸やガラスなどの被写体は、従来の点群に比べ圧倒的に鮮明に再現されるため、これまでの計測用途のほかに、インフラの維持管理調査業務や災害記録としても活用いただけます。

ドローンで取得した 3D 点群データのリアルタイム伝送技術

3D 点群データは性質上、データ量が多いため、遠隔地に情報を共有するためにはデータを保存した記録媒体そのものを事務所を持ち運んだり、膨大な時間をかけてクラウドに伝送したりする必要があり、即時の共有が困難でした。しかし、2025年6月5日にドローンで取得した 3D 点群データのリアルタイム伝送が実証されました。これは、KDDI(株)が開発した 3D 点群圧縮ソフトウェアを搭載したドローンが、上空から地形や地物の 3D 点群データを取得し、即時伝送することが出来たという事例です。今回の技術を使えば、様々な問題に対処可能となります。例えば災害などが起きた際、被災現場の状況を遠隔からリアルタイムに 3D データで確認することが可能となり、数時間かかっていた被災状況の確認がわずか数分で可能となり、より迅速な救助活動に貢献します。また、広い現場を少人数で管理することも出来るようになり、日常実施する出来形管理や検査・点検などの更なる効率化にも期待できます。

コンピューターウイルスが生成 AI を悪用

今年7月、世界で初めてサイバー攻撃に組み込まれる形で生成 AI を悪用したウイルスが発見されました。セキュリティ会社トレンドマイクロによると、「LAMEHUG」と呼ばれるこのコンピューターウイルスは、ウクライナの政府機関を狙ったサイバー攻撃で確認されたそうです。厄介な点として、ウイルス本体には明確な攻撃プログラムが含まれていないため、従来のウイルス対策ソフトでは検知が難しいということです。(メールの添付ファイルを開くことでコンピューターウイルスに感染→ウイルスに感染したコンピュータは、ネット上にある生成 AI にパソコン上の情報を集めてコピーし、指定したサイトに送るためのプログラムを書かせる→そのプログラムをウイルスが実行し、パソコン上の情報は攻撃者が指定したサイトに流される、というもの)

AI の発展によって様々な業務効率化に繋がっている一方で、技術の進歩故に悪用を防ぎきれない面もあるようです。今後も不審なメールには気を付けると共に、AI のような新しい技術への理解を深めていきたいものです。

Windows10 サポート終了のお知らせ

2025年10月14日をもちまして、ソフトウェア更新プログラム、テクニカルサポート、セキュリティ修正プログラムが、Microsoft から提供されなくなります。Windows10 の PC は引き続き機能しますが、セキュリティの関係上、Windows11へ移行することが推奨されています。

ワンポイント Windows の「ローカルアカウントとマイクロソフトアカウント」って何が違う？

アドバイス

Windows PC を使用する際に「ローカルアカウント」と「Microsoft アカウント」の2種類が存在するようになりました。どんな違いがあるのか簡単にご紹介致します。

ローカルアカウント

パソコン毎にユーザー名と任意でパスワードを登録し、サインインするためのアカウント。複数のパソコンに同じユーザー名でアカウントを作成しても、パソコンの設定などは同期されません。インターネット接続がなくても利用することが出来き、より機密性が高い。

マイクロソフトアカウント

ローカルアカウントと同様にパソコンにログインする為のアカウントですが、インターネット接続が必要。登録した Microsoft アカウントで登録した PC を買い替える際、新しい PC でも同じ Microsoft アカウントでログイン登録することによって、今まで使っていたパソコンの壁紙やブックマーク等の設定が自動で引き継ぐことが出来る。